

井の口まちづくり会通信

井の口まちづくり会 設立・平成20年3月23日
発行・平成24年6月10日・第11号通信
責任者・小林孝夫(井の口まちづくり会会长)
〒500-8018 岐阜市大仏町8 ☎058-264-2760
事務局長・河崎良史 E-mail・malo@he.mirai.ne.jp
通信編集・作成 馬場わかよ(事務局)

24年・25年度 新役員のご紹介

顧問	堀 達夫
相談役	松原 和生
会長	小林 孝夫
副会長	堀 智仙
事務局長	杉山 秀子
会幹	伊藤 逸夫
	河崎 良史
	名和 利夫
	安藤 幸延
	木野村英機
	篠田 勝夫
	鈴木美美子
	高橋紀久子
	中村 末雄
	杉山 周三
	馬場わかよ
	森 勝彦
	森 喜彦
	北川 英生
	後藤 勝利
	杉山鉢一郎
	高橋かずえ
	武井 英男
会計監査	杉山 範彦
事務局	小林 教子
	神山 明
	澤田 勝美

部会活動を一緒にしませんか?

部会長・副部会長の交替も一部ありました。私たちとともにまちづくり会の部会活動に参加しませんか。

- イベント部会
部会長・高橋かずえ 副・後藤 勝利
- まちの歴史探索部会
部会長・中村 末雄 副・杉山 周三
- まちの風景検討部会
部会長・木野村英機 副・河崎 良史
- まちなかアート部会
部会長・伊藤 逸夫 副・杉山 範彦
- 広報通信作成部会
担当・事務局 会長 副会長 部会長



部会活動と一緒にしませんか?
部会長・副部会長の交替も一部ありました。私たちとともにまちづくり会の部会活動に参加しませんか。
●イベント部会
部会長・高橋かずえ 副・後藤 勝利
●まちの歴史探索部会
部会長・中村 末雄 副・杉山 周三
●まちの風景検討部会
部会長・木野村英機 副・河崎 良史
●まちなかアート部会
部会長・伊藤 逸夫 副・杉山 範彦
●広報通信作成部会
担当・事務局 会長 副会長 部会長

平成24年度総会を開催しました

総会特別講演
講師 堀 智仙

竹中半兵衛

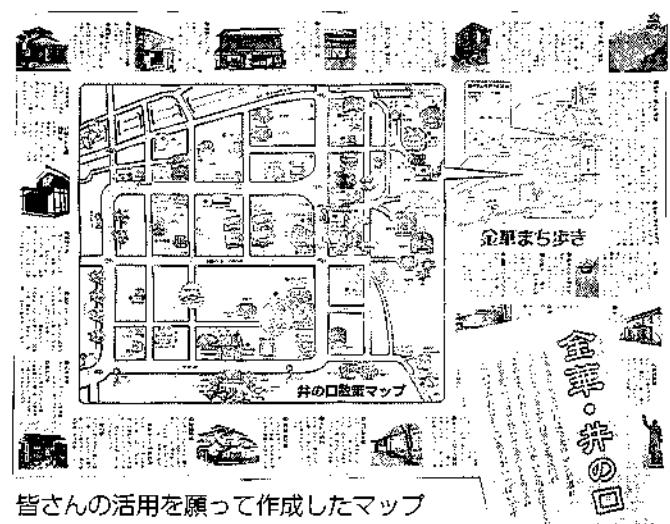
堀前会長が顧問に就任され、大役を仰せつかることになりました。

4年間にわたる堀前会長のご功績に感謝申し上げるとともに、そのご意志を引き継いで、井の口が今後とも楽しく暮らせるまちであり続けるよう、一層の努力を重ねてまいりたいと考えております。

今年度の総会の記念講演は、井の口まちづくり会副会長でもある妙照寺の堀智仙住職に「妙照寺と芭蕉・竹中半兵衛」と題して講演をしていただきました。

妙照寺と芭蕉の関係や、芭蕉を岐阜の地へ迎えることとなつたその仲間たちとのやうな巧みな話術でお話をいただきました。

金華・井の口マップが新しくなりました!



皆さんの活用を願って作成したマップ

協賛名: 安藤商店 円空美術館 岐阜観光索道 公園
の湯 光芳堂 大仏殿正法寺 飛驒牛かわい 妙照寺
十八楼 匿名 オンダ特許 ふくろう絵工房
房 のやま亭 東亭食堂 宇野カバン店 奥田銃砲店
喫茶いわた きんか こまや左助 コメダ
堂 常在寺 しんめ 津田屋 ギャラリーなうふ現代
名和昆虫博物館 人形の堀田 売店植木屋 売店金華
茶屋 売店むらせ 萬松館 わいわいハウス金華

23年度岐阜市景観賞を受賞

岐阜市の魅力ある景観を作り出す建築物や活力のあるまちづくり活動を表彰する「岐阜市景観賞」に井の口まちづくり会が選ばれ、去る1月31日、柳ヶ瀬あい愛ステーションにて表彰式が開催され、賞状と楯が堀会長に授与されました。

選考のポイントは、散策マップや会報の発行をはじめ、歴史講話やお月見アートの開催など各種の活動が盛んに行われている点が高く評価されました。



マップの円空美術館の開館時間10:00～17:00は～16:00の間違いです。
お詫びして訂正します。

歴史博物館と道路をはさんで西にある円空美術館。中に入ったことがある人は地元でも少ないと聞く。
円空美術館の所有者は隣の古美術を扱う松栄堂さん。平成4年9月、岐阜相互銀行が持っていた倉庫を買い取ら手直しをして、40体ほどの円空で開館しました。
なぜ円空仏の美術館をと問い合わせたら「円空さんののはほえみに魅せられて」との返事。5体が10体に、10体が40体、いつのまにか70体を超えて、今では78体を所有する日本一の個人コレクターの美術館です。
「皆さんのおかげ、いろんな人から声がかかって、また高度成長の時代だったから集まつたんやろうね」と奥さんが話されます。
開館日は水・土・日曜日。ぜひ一度ご覧になりませんか。（馬場）

まちなかお宝アート発見
円空美術館
このまちに暮らす私たちのニュースです

井の口まちづくり会
5周年記念事業

「井の口のお宝展」開催

8月25日(土) 26日(日)

お宅に残る古き生活用品や道具、思い出のある大切なモノたち。
趣味の作品や自慢のコレクションなどを見せていただけませんか？

ご自宅の玄関先を少し解放していただき、わが家の伝承品、子ども時代に使った懐かしい用具や文具、お商売や家業にまつわる道具や資料などの年代物。また、古いものだけでなく、現在趣味で作っているものや集めているものを展示いただけるお宅やお店を募集しています。

2日間のうちの1日だけでも午前・午後からだけでも構いません。展示いただけるお宅または商店は、展示時間・内容などをマップに掲載しますので下記の会員へ6月30日までにお知らせください。

**会員の皆さま、作品を出展していただけせんか？
展示スペースとしてお店の隅をお貸しください。**

会員の皆さま、長く続いている趣味などの作品がありましたら、この機会に展示会場にて出展・発表してみませんか？

このまちの美しい風景を写した写真などがありましたら、お貸しください。別会場にて井の口の写真展を企画しています。また、これらの作品を置かせていただける空きスペースありましたらお知らせください。

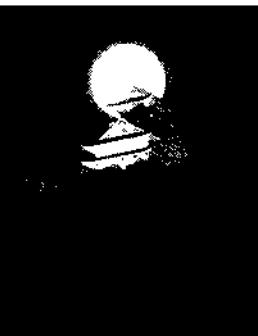
申込：伊藤逸夫・小林孝夫・堀智仙・杉山秀子・河崎良史・高橋かずえ
堀達夫・杉山範彦・鈴木英美子・馬場わかよ・小林教子

- 押入れや納戸に眠るお宝はありませんか？
- 会員の皆さまの作品を発表しませんか？
- ご自慢の蒐集品を拝見できませんか？
- 玄関先を開放していただけるお宅大募集です

本年度、井の口まちづくり会は設立5周年の節目を迎えます。これまでまちの美しさや歴史の深さを生かした事業を企画してまいりましたが、この節目の年にあたり、広く皆さんにこのまちの素晴らしさと人柄の良さ、また、まちづくり会活動の集大成として知つていただけるような記念事業となる「井の口のお宝展」を企画しました。

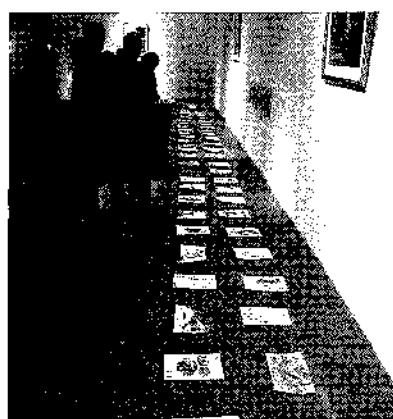
8月25日・26日の2日間、皆さんのお宅の玄関先を解放していただき、お商売の一部のスペースをお借りしてご自慢の「お宝」を見せていただこうというものです。大仏殿、妙照寺などにも特別拝観の展示をしていただけます。また、河村邸は会員の皆さんから寄せられたお宝の展示会場にお願いしています。

当日は「お宝展示マップ」を作成して、皆さんに自由に見て歩いて、このまちの魅力に触れていただきます。たくさんの方々のご参加、ご協力をお願いいたします。



このまちの良さと美しさを発信

井の口まちづくり会開催活動報告



展示会場の様子（光芳堂）

大仏様への年賀状展
内や近郊の方々から約300枚近い年賀状をいただき、1月13日から15日まで画廊光芳堂にて展示しました。今年の特徴は、干支の龍や大仏様のイラストに加え、復興への願いを込めた震災に関するメッセージが目立ちました。皆さまの素晴らしい年賀状を来年もお待ちしています。（伊藤逸夫）



観客を前に熱演する学生演者

岐阜市主催「第9回全日本学生落語選手権」が2月26日に長良川国際会議場で行われ、選手権に参加した学生8人が、同日の午後6時から正法寺で行われた「井の口寄席」に駆けつけてくれました。今年は演者の半数を女性が占め、内に笑いを巻き起こしました。休憩時間には豚汁が振る舞われ、和やかな会となりました。（高橋かずえ）

妙照寺歴史講話会



若き垂井町学芸員の亀田氏を囲んで
まちづくり会の皆さんと記念写真
(堀達夫)

まちなか七夕アート

開催期間 7月5日(木)～8日(日)

昨年に続いて「まちなかアート部会」による「まちなか七夕アート」を開催します。

今年も河村邸の軒先を中心にまちの多くのお宅の玄関先に、笹の七夕飾りを付けていただき、井の口の町並みの美しさを創出するイベントです。また、七夕の7日の夜には河村邸にてコンサートを行います。

■まちなか七夕コンサート

日時 7月7日(土) 6時 開場
場所 河村邸（下茶屋町）

出演 シンガーソングライター 近藤香理
香理さんは岐阜市出身のシンガーソングライター、4年前にアルバム「AROMA」でデビューしました。FC岐阜サポーティングアーティストとしても活動しています。

■玄関先に「七夕飾り」の笹を飾っていただけるお宅を募集します

7月5日未夕方5時より、ふくろうの店（伊藤宅）にて笹と七夕飾りのセットをお渡しします。各自工夫して思い思いの七夕飾りを家の前に飾ってください。数は50セットほどを用意いたしますが、事前にお申し込みをいただいたお宅を優先します。

・申込：伊藤逸夫 携帯 090-4083-6344

歴史講話会 蒼藤四代記

6月30日(土) 午後1時30分～

常在寺（梶川町） 定員50名（申込）

岐阜市歴史博物館学芸員 土山公仁氏

竹中半兵衛に続く「まちの歴史探索部会」の勉強会は、油売りから身をおこし一代で美濃を奪ったと信じられてきた蒼藤道三。実は父の代からの二代であり、道三こそ岐阜のまちづくりを最初に手掛けた人物であります。そのあとを引き継いで仕上げたのが織田信長です。

道三にまつわる話題はすこぶる豊富ではありますが、父の代から子ども、孫に至る栄枯盛衰は、戦国時代に关心のある歴史ファンならずとも井の口に暮らす私たちにとっても興味深い内容です。

また、講師の土山氏は道三研究の第一人者であり、会場は蒼藤家にゆかりが深い菩提寺である常在寺をお借りしての開催です。

■受講希望者は電話で申し込みください

・申込： 中村末雄部会長 262-3518

または 堀達夫 顧問 263-9540

・参加費は無料です。先着順で受付け、50名の定員になり次第締め切ります。

事務局だより

事務局長 河崎良史

毎年、春から初夏にかけて、金華山全体がつぶらじいの花で黄金色に輝く時期があります。金華山の名前の由来もここから来ている説もあるくらいで、眺めているだけで元気をもらえます。豊かな緑を自宅から、あるいは日常の生活道路から無意識のうちに眺められる環境に改めて感謝したい思いです。

井の口の風景を構成しているアイテムで、真っ先に出てくる金華山。金華山を眺めるビューポイントを大切にしたいです。岐阜城はどうでしょう。豊かな原生林の金華山に人工物のお城が頂上にあることに疑問を持つ人がいるでしょうか。自然に敬意を払い、同化すべきと心掛ける人間の行為は認められると思います。麓の三重の塔は見事に自然に溶け込んでいます。一度、風景を意識しながら井の口のまちを歩いてみたいものです。

井の口まちづくり会通信

井の口まちづくり会 設立・平成20年3月23日
発行・平成24年10月10日・第12号通信
責任者・小林幸夫(井の口まちづくり会会长)
〒500-8018 岐阜市大仏町8 ☎058-264-2760
事務局長・河崎良史 E-mail・malo@he.mirai.ne.jp
通信編集・作成 馬場わかよ(事務局)

井の口のお宝展にご協力ありがとうございました

井の口のお宝展に参加して

松ヶ枝町で育ち、83才になります。山の井の口の里は自然に恵まれています。ハイツワーカとして昆虫と植物の関わりについて研究、資料集めをしていました。今回、絶滅危惧のギフチョウなどを一々個体を展示させていただきました。

本町一 杉山 秀子

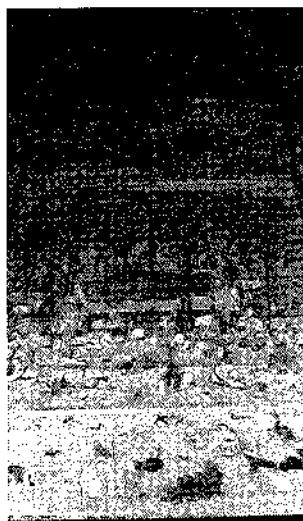
妙照寺の芭蕉の間で行われた特別展で、今まで人の目に触れたことのない書団・骨董品を展示了多くの方に見ていただきました。大変好評でした。来年もやってほしいという言葉をいたたくなど、良い企画に参加できてよかったです。

下茶屋町 篠田 麻生

近所に水石盆石の専門店があることを知り、地区的文化的豊かさをうれしく感じました。大宮町一 茂田 尚弘
八十路に入り永年撮り続けた写真を整理してしまったら、こんな記録帳が生まれました。「懐かしいふるさとの思い出」として皆さまに見ていただきたいと、今回のお手元を良い機会に展示させていただきました。今後も、最愛のカメアと共に撮り続けていきたいと思います。

田空美術館 館長 松永 義和

書じておいたが大勢の皆さまが拝見してくださいありがとうございました。仕事柄、田空仏と出会いが重なり、その微笑みに魅せられて集めることになりました。田空の造體活動は寛立三年より全国を廻りその数12万体を超えるといわれ、現在5千5百体が確認されています。



のぼり鯉遺作展(小原屋商店)

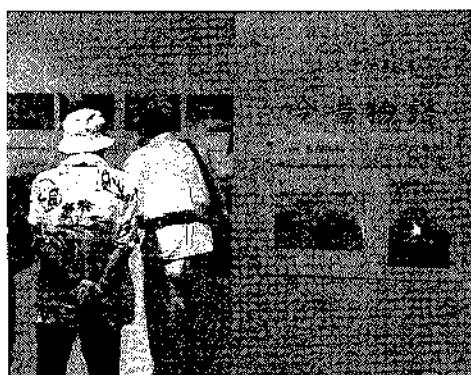


卷之三



「私のお宝屋」の金髪風景(河村邸)

井の口まちづくり会 会長 小林 孝夫
8月25・26日の2日間で開催された「井の口のお宝展」は地域の皆さまのご協力を得て盛大のうちに終了することができました。ありがとうございました。
両日は、黄色のお宝展マップを片手に数百人の方々が井の口エリアを散策されました。残暑厳しい中ではありましたでしたが、井の口の魅力と展示された作品に堪能された様子も伺え、この企画及び内容に内外から高い評価を得ることができました。我々スタッフもこのまちのお宝の再発見と誇りの再確認をさせていただきましたが、作品及び会場を提供された方々のお気持ちこそ、井の口のお宝であつたと痛感しています。
今後とも本会は楽しさを感じるまちづくりに向けて元気に活動してまいりますが、地域の皆さまのさらなるご理解とご協力を切にお願い申し上げます。



写真展の会場風景(ギャラリーなうの現代)

5周年記念イベントは大盛況！

ぎふ大仏フェスティバル

子ども達にゲームを提供！

今年は雨のため1日だけとなつた大仏フェスティバル。中止になつた1日分を取り戻そうということなのか、境内が狭く感じられるほど多くの人達で賑わいました。子どもを対象としたゲームを井の口まちづくり会が準備、今年は「缶積み競争」です。内容は集めた空き缶300個を5つにグループに分け、積み上げた缶の高さを競うもの。1グループ10人の子ども達は協力しながら缶を積んでいきました。高く積んでもバランスが崩れてガラガラと倒れてしまふと、悔しそうに大声をあげるなど、賑やかでした。空き缶出しに協力してくれたビーチで子ども達の様子を見つめました。（高橋かずえ）



「缶積み競争」で缶を積み上げる子ども達

7月5日(木)~8日(日)
七夕コンサート7日(土) まちなか七夕アートを開催

7日夜は河村邸にて恒例の七夕コンサートを開催。若きシンガーソンググラマー近藤香理・佐藤梓さんお二人による歌と演奏です。最後には参加者全員で「七夕さま」を合唱し約1時間のコンサートに酔いしれました。

今回もコンサート会場として快く提供いただいた河村夫妻に感謝し、厚くお礼申し上げます。
(伊藤逸夫)



若いお二人の歌声が屋敷内に響きました

9月12日・13日 清流国体炬火イベントに参加



炬火を手にして走る井の口まちづくり会役員の皆さん

井の口まちづくり会通信

井の口まちづくり会
発行・平成25年4月10日・第13号
責任者・小林季夫(井の口まちづくり会会長)
〒500-8018 岐阜市大仏町8 2058-264-2760
事務局・河崎良史
E-mail・malo@hemiraine.jp
通信編集・作成 黒場わかよ(事務局)

5月11日(土)に妙照寺落慶法要開催



平成9年7月31日に岐阜市重要文化財に指定される。本堂正面、左右に飾り付けられた鬼瓦は、かつては本堂棟の東西に上げられていたが、享保4年(1719)から実際に29年ぶりに地上に下りたことになる。庫裏は現存する県内の神社・仏閣の中で最古の建造物であると県教育委員会の調査結果がある。中でも芭蕉が滞在した座敷は「芭蕉の間」として有名。

群細はチラシ・ポスター等でまだお知らせします。

さを実感いたげたらと思つております。

外からも中からもじ見いたとき、いのお寺の素晴らしさ

落慶記念イベントです。よみがえった妙照寺をぜひ

●会場 妙照寺本堂にて(芭蕉の間も公開します)

●日時 5月11日(土)午後1時30分より

時代の岐阜のまちについてお話ししたいだけます。

松尾芭蕉と妙照寺に因んだお話、専門分野である江戸

び声の高い望月良親氏に「芭蕉が見た岐阜」と題して、

岐阜市歴史博物館の学芸員であり、若きホーブと呼

慶賀事業として記念講演会を開催いたします。

妙照寺の改修復元工事を記念いたしまして、井

生による基調講演を行ないます。

妙照寺の改修復元工事を記念いたしまして、井

まる雅見行列が妙照寺まで予定されていますので、皆さ

14日は正法寺(大仏殿)から、大勢のお子さん達によ

つくり登りイベントとして参加した復元工事によ

り、250年ぶりの再興がされています。

土塹も平成21年の春に、井の口まちづくり会が「し

歳月をさかのぼり創建当時の姿によみがえりました。

今後も更なる発展を祈念するものであります。350年の総

もどり全国各地からのご協力によつて、壇信徒は

委員会や専門家のアドバイスをいたいで、壇信徒は

の間が文化財を保持し、後世に伝えるべく市の教育

改修復元工事が、昨年11月に完工した本堂と庫裏

この落慶法要は、平成22年秋に着工した本堂と庫裏

要が、4月14日(日)午前10時30分より行われます。

岐阜市重要文化財に指定されている妙照寺の落慶法

要が、4月29日(日)午後1時30分より行われます。

4月14日には妙照寺落慶法要

岐阜市重要文化財に指定されている妙照寺の落慶法

要が、4月29日(日)午後1時30分より行われます。

井の口まちづくり会通信

井の口まちづくり会 設立・平成20年3月23日
発行・平成26年2月1日・第14号通信
責任者・小林 孝夫(井の口まちづくり会会長)
〒500-8018 岐阜市大仏町8 ☎058-264-2760
事務局長・名和 利夫 通信編集作成・馬場わかよ

井の口「まちの文化的建造物」顕彰制度を発足

国の重要文化的景観地区選定の答申

昨年11月15日に文化庁の文化審議会が「長良川地区・金華山地区」を国の重要文化的景観と選定するよう文部科学大臣へ答申しました。当該地区には金華地区が含まれ、私たちの生活空間が文化を育んだ魅力的な風景であることを国に認められました。東海地方では初のことです。

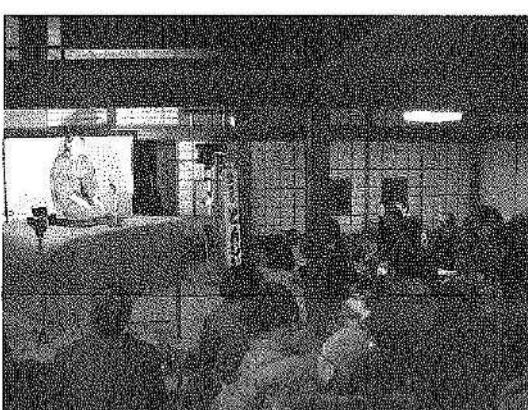
文化的景観とは、「自然や風土の中で、人々の日常的な生活・文化が継続的に営まれてきたことにより、かたち作られた身近な景観」のこと、その中でも特に重要な地域として選定されることになったのです。

今年度の総会で、京都工芸繊維大学の清水重敦先生から文化的景観に関するご講演をいただきましたが、まさに風景は生活(生業)を表現することというお話のとおりで、金華山や長良川の自然と、長い歴史の中で培われてきた井の口のこの風景を、これからも大切にしていきたいと思っております。

まちの風景検討部会 部会長 木野村 英機



「井の口寄席」開催のお知らせ 2月23日(日)開演6時(開場5時30分) 会場：妙照寺本堂 きど銭：300円(豚汁付き)



正法寺での昨年の井の口寄席の様子

岐阜市が主催する「第11回全国日本学生落語選手権・策伝大賞」に出演する全国の学生らによる井の口の落語会です。今回は昨年平成の大改修を終えた「妙照寺本堂」にて行います。

木の香りが新しい芭蕉ゆかりのお寺で、学生たちの力いっぱいの高座をお楽しみください。なお、小さいお子さんの同伴はご遠慮ください。豚汁の振る舞いがあります。きど銭は全額、学生落語支援団体に寄贈しています。(高橋)



記念にコンクリート壁に文字を書く見学者



記念にコンクリート壁に文字を書く見学者

平成25年12月23日、梶川貯留槽建設見学会

完成すれば、全長500mの大トンネル槽となり、貯留量は6千200m³(小学校の25m³ブール約20杯分)。大雨が降っても、皆さんの大変な命と財産を守ってくれる、目に見ることはできない宝物になります。(馬場)

井の口の魅力的な建造物の登録申請をお願いします

井の口まちづくり会 会長 小林 孝夫

井の口まちづくり会では、平成26年度から「井の口の建造物等顕彰制度」を発足します。これは、井の口の魅力的な建造物等をまちの宝物ととらえ、後世へつなげていくためのもので、まちの風景検討部会が担当します。

つきましては、次の要領で進めていくこととしますが、第一弾として、このまちに残る戦前の建造物から登録の受付をスタートします。ぜひとも、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

目的

戦争や震災から残った歴史的建造物を大切に保存管理されてみえる方や、井の口の町並みに根差せる工夫をされて改築をされるなど、地域の魅力創出に努力されている方がこまちには数多くいらっしゃいます。

こうした方々のお心遣いと具現化が、私たちに井の口の誇りを感じさせていただけるものであることを実感し、今回、その感謝と建造物の顕彰の場を設け、井の口の魅力を一層高めていくことを目的とします。

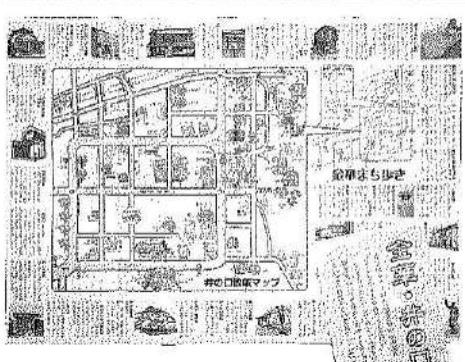
制度の概要

自薦、他薦で魅力的な建造物を井の口まちづくり会へ登録申請していただき、登録された建造物等の中から年数件を選定いたします。

選定物件は「まちづくり会通信」「リーフレット」等で住民の皆様へ広報とともに、選定表示板の掲示依頼を所有者または管理されている方へお願いするものです。

登録に当たつての注意事項

本年度は、戦前に築造された建造物等で適切に管理されており、井の口に根差していると思われるものとします。新しく建築物であっても井の口の風景をより魅力的にしていると思われるものです。新しく本年度の自薦・他薦の締め切りは3月末とします。なお、第1回の顕彰は次年度の総会(今年4月末を予定)に行いたいと思っています。



井の口マップは、A3両面2色印刷の8つ折りポケットサイズ。内面には区域内の地図をイラストと文章で紹介し、外面にはこのまちの名所やお店などの情報を満載しています。

立てるもおうと、井の口まちづくり会が活動を始めた21

年に作成し、24年に改訂した

マップを、このまちを訪れる多くの方たちの手にお渡しして

いただける商店、企業、個人に無料配布しています。

入手を希望される方は、事務局長名和利夫(電話058-1263-10097)へご連絡ください。

ここで建設されている梶川貯留槽

は、妙照寺前の通りの地下11mを西

方向に、シールドマシーンという直

径4mの大きな機械でモグラのよう

に掘り進んで、マシーンのジャッキを延ばして12mずつ前へ進み、コ

ンクリート壁ブロックエレクターに

てトンネルを組み上げています。

作業は8時間の2交替で行われ、

雨のときには、水の行き場が無くな

り、この一帯は浸水していました。

ここでもう少し詳しく説明します。

現在、金華山の西側斜面に降った雨の多くが、井の口のまちの中に流れ込んでいます。少しごらいの雨な

ら問題はないのですが、記録的な大雨のときには、水の行き場が無くな

り、この一帯は浸水していました。

そこで建設されている梶川貯留槽

は、妙照寺前の通りの地下11mを西

方向に、シールドマシーンという直

径4mの大きな機械でモグラのよう

に掘り進んで、マシーンのジャッ

キを延ばして12mずつ前へ進み、コ

ンクリート壁ブロックエレクターに

てトンネルを組み上げています。

作業は8時間の2交替で行われ、

雨のときには、水の行き場が無くな

り、この一帯は浸水していました。

ここでもう少し詳しく説明します。

梶川貯留槽建設中のまちなかお宝アート発見

まちに新たなお宝が誕生します。

そのお宝は、コメダ珈琲前に高く囲いで覆われた作業場に建設中です。

現在、金華山の西側斜面に降った

雨の多くが、井の口のまちの中に流れ

込んでいます。少しごらいの雨な

ら問題はないのですが、記録的な大雨のときには、水の行き場が無くな

り、この一帯は浸水していました。

平成25年度・井の口まちづくり会・各部会活動報告

妙照寺落慶協賛事業

妙照寺の落慶に協賛して井の口まちづくり会では、岐阜市歴史博物館学芸員の望月良親氏に「芭蕉が見た岐阜」と題した記念講演会を5月11日(土)、大改修を終えた妙照寺本堂にて開催いたしました。

当日は天気にも恵まれ、芭蕉の間の公開もされて大勢の参加者でござい、妙照寺の落慶に花を添えることができました。

常在寺の古くからのいわれをはじめ、斎藤家とのつながり、その他北川住職の調査結果を充分に伺うことができました。

特に、道三の遺言状は大変興味深いものであり、定員よりも多い人が詰めかけて、熱心に耳を傾けていただきました。

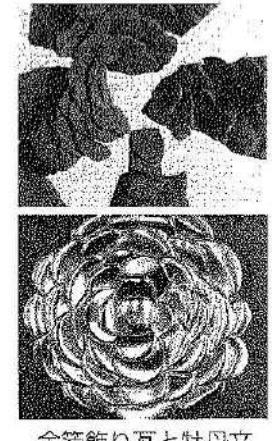
「信長居館跡」発掘物語り

11月30日(土)、25年度発掘現場を中心と視察と解説が市教育委員会の井川女史により行われました。池をはじめ金箔飾り瓦の出現、さらには随所に見られる庭造りについて詳細に解説がなされ、およそ60名の参加者が1時間30分にわたり熱心に聞き入りました。

参加者からは説明が解りやすく好評で、来年もぜひ開催してほしいと言われましたが、地元の方が少數であった点が残念でした。



常在寺北川住職による講話会の様子



金箔飾り瓦と牡丹文

まちなか七夕アート部会

部会長 伊藤 逸夫

3回目となる七夕アートを7月6日(土)・7日(日)に開催。今回はコンサート会場を般若寺さん

のご協力で移し、山門前に2本の大笪で七夕飾りをしました。

50軒ほどの軒先にゆれる七夕飾りの町並みに酔い、夕暮れのコンサート会場には70名ほどの参加を得て、ソプラノ歌手鶯見孝子さんの歌声が後藤亜衣さんの伴奏に乗って金華山に届きそ

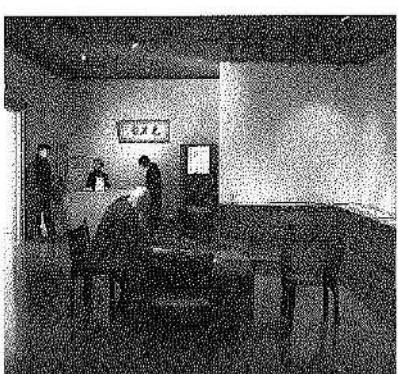
うな声量で響き、感動と至福のひとときを過ごしました。

19日(土)夜には、大仏殿、般若寺、ふくろうの家を廻るスタンプラリーを開催。ゴールに到着の97名に手づくりぜんざいを振る舞いました。同夜は夕方からの曇り空、その隙間から3分ほどの短い間、お月様が顔を出してくれました。

ふくろうの家を廻るスタンプラリーを開催。ゴールに到着の97名に手づくりぜんざいを振る舞いました。同夜は夕方からの曇り空、その隙間から3分ほどの短い間、お月様が顔を出してくれました。

関先にススキを飾つていただき開催しました。

大仏様への年賀状展



光芳堂にて年賀状展

事務局だより

井の口まちづくり会は、結成からまだなく6年になります。井の口まちづくり会の活動区域は、400年前の戦国時代に斎藤道三、織田信長が築いた城下町と重なり、その当時の町割りが、現代に引き継がれています。

まちは、今もなお歴史や文化を肌で感じられます。このことは、井の口あたりの江戸、明治、昭和、平成の地図を見比べるとよりはつきります。井の口の町割りに大きな変化はなく、400年前の町割りを知ることができ、現実のまちに接することができ、感動します。

こうした環境の中で、私たちは暮らしています。このような歴史と文化が身近に存在するまちは多くはありません。こうした歴史や文化を多くあります。このまちの歴史や文化に関する情報に容易にアクセスできることで、会員が増え、井の口のまちづくりが進むと考えます。

今年度より事務局長を任せました。皆様のお知恵とパワーをお貸しください。よろしくお願いします。

まちなかお月見アート

今年も10月の十三夜を挟んだ7日間、地区内の60軒ほどの玄



般若寺での七夕コンサート



岐阜女子大学書道部による大仏殿での揮毫風景
作品「夜月天」は1週間
大仏殿東側に展示された

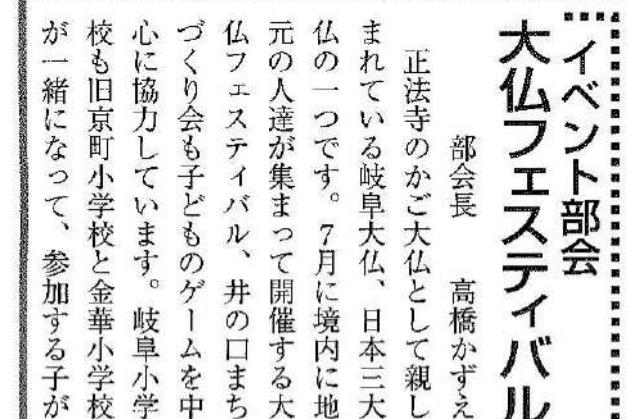
しまった。お天気に恵まれ、ウオーケーク日よりとなりました。

しました。お天気に恵まれ、ウ

一歩を踏み出しました。子ども時代の楽しい思い出になってくれるといいますね。「あんどん祭り」も力作で多くの人が訪れました。

すしを作った益屋町の「御鮨所」

シを井の口まちづくり会員で配布

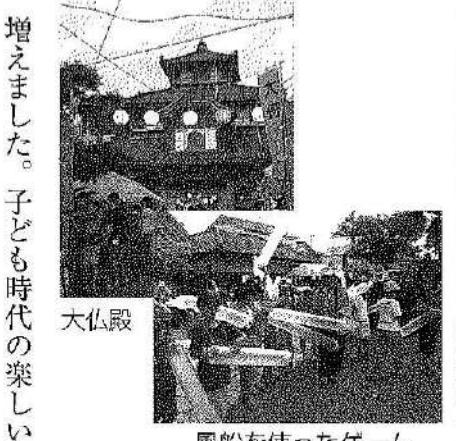


イベント部会 大仏フェスティバル

部会長

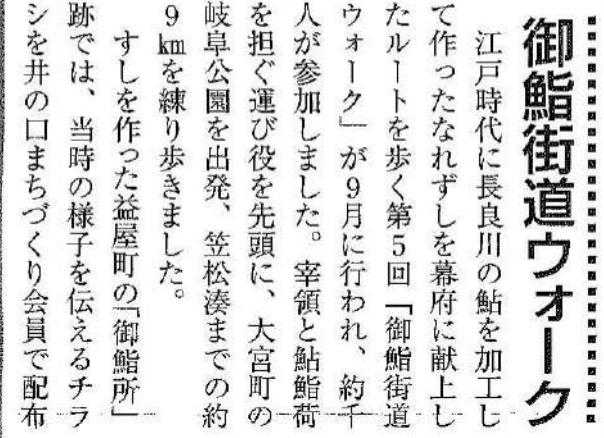
高橋かずえ

正法寺のかご大仏として親しまれている岐阜大仏、日本三大仏の一つです。7月に境内に地元の人達が集まって開催する大仏フェスティバル、井の口まちづくり会も子どものゲームを中心協力しています。岐阜小学校も旧京町小学校と金華小学校が一緒にになって、参加する子が



風船を使ったゲーム

大仏殿



御鮨街道ウォーキング

江戸時代に長良川の鮎を加工して作ったなれずしを幕府に献上したルートを歩く第5回「御鮨街道ウォーク」が9月に行われ、約千人が参加しました。宰領と鮎鮓荷を担ぐ運び役を先頭に、大宮町の岐阜公園を出発、笠松湊までの約9kmを練り歩きました。

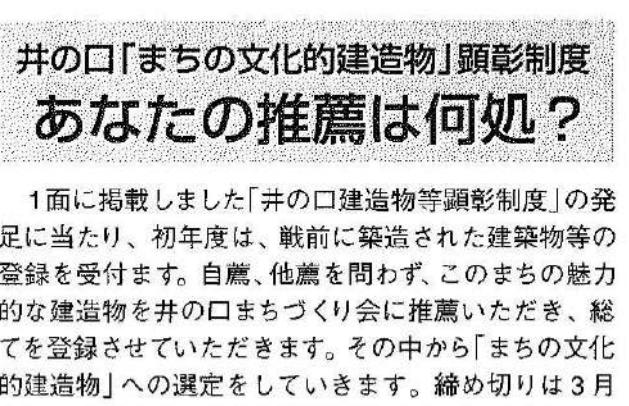


しました。お天気に恵まれ、ウ

一歩を踏み出しました。子ども時代の楽しい思い出になってくれるといいますね。「あんどん祭り」も力作で多くの人が訪れました。

すしを作った益屋町の「御鮨所」

シを井の口まちづくり会員で配布



推薦建造物等名（所有者名・町名等）
お薦めの理由
推薦者氏名（ ）匿名可

井の口まちづくり会・各部会活動のご案内とご報告

まちの風景検討部会 日帰りバス視察研修 近江八幡・安土城跡 11月16日(日)

参加費3,000円 定員40名(まちづくり会員限定)
先着順・受付開始は10月15日から(定員になり次第締め切り)

今回で5回目となる日帰りバス視察研修は、まちづくりの成功例で名高い近江八幡と井の口にゆかりがある安土城跡に決定しました。

近江八幡の視察を中心に、街道筋にあたる安土城跡、さらには新しいまちづくりを実践した彦根キャッスルロードを訪ねます。

参加を希望される方は、左下の申込書を10月15日より下記申込み先へ提出してください。参加費には昼食代が含まれています。

- 申込み先 正法寺大仏殿受付へ(小林会長宅)
- 参加費用 3,000円(集合場所受付にて当日納金いただきます)
- 集合日時 11月16日(日)午前7時30分(午前8時出発)
- 集合場所 岐阜公園・名和昆虫博物館東側
- 帰宅時間 午後6時頃を予定

(部会長 名和利夫)

※お願い: 当日と前日のキャンセルは、参加費用を徴収させていただきます。

イベント部会 9月23日(祝) 「御鮎街道市民ウォーク」

第6回「御鮎街道市民ウォーク」が今年も9月23日(祝)に行われます。今回からA地区(金華・京町・明徳)、B地区(梅林・白山・華陽)、C地区(加納東・厚見・茜部)ごとに宰領役などを選出することになりました。

A地区では御鮎荷持ちに岐阜小学校のPTAが、旗持ちは中央中学校生徒が参加します。沿道の皆さんへの参加もお願いします。

また、井の口まちづくり会では御鮎跡にて、資料の配付と拡大パネルを展示いたします。(部会長 高橋かずえ)



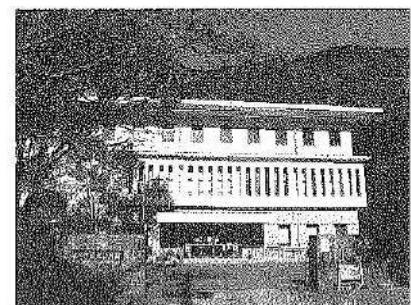
昨年の御鮎街道ウォーク参加の皆さん

まちの歴史探索部会 9月28日(日)定員20名 歴史資料館「収蔵品特別閲覧会」

夕陽ヶ丘にある岐阜県歴史資料館には古くからの美濃、飛騨にまつわる貴重な歴史資料が保存されています。

この度、館長さんの特別な計らいで8月10日(日)、館内資料の見学と小川敏雄氏解説による「収蔵品特別閲覧会」が予定されていました。しかしながら、台風11号の襲来で残念なことに中止を余儀なくされ、9月28日(日)(午後1時30分~)に延期することになりました。

今回は、員数に制限がありますので、参加は原則として先般申し込まれた方とさせていただきます。(部会長 杉山周三)



バス視察研修参加申込書

氏名		
住所	〒	—
TEL	—	—
同行者名 家族のみ		
○で囲む	会員	新規会員*

私たちが住んでいる「長良川地区・金華山地区」が国の重要文化的景観地区選定に答申されたことは、前号通信でお伝えしたところです。

今号では、このまちの魅力と景観を創り出している建造物の中から、井の口まちづくり会における第1回「まちの文化的建造物」を顕彰をさせていただきました。この7邸の玄関先には、桜の木に印字した当会贈呈の標札がかけられています。

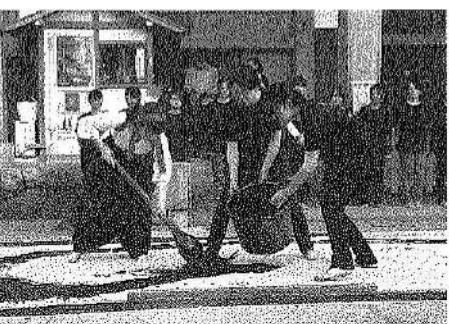
「お月見アート」のスタンプラリーのおりには、金華山とお月さまを愛でながら、ぜひ標札のかけてある家々も廻って、このまちの風情を楽しんでいただけたらと思います。

事務局だより

*新規会員は、参加費と今年度会費をいただきます。

まちなかアート部会 10月4日(土)~11日(土) 「まちなかお月見アート」を開催

10月4日(土)午後3時から書道パフォーマンス
10月11日(土)午後6時からスタンプラリー開催



昨年の書道パフォーマンスの様子

5回目となる十三夜を愛する「まちなかお月見アート」を開催します。お月見の風情をいつしょに楽しみましょう。

ススキを配付します

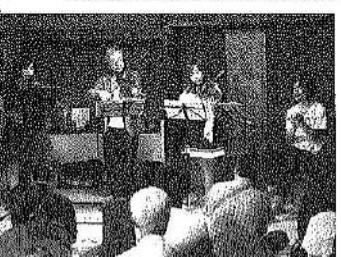
10月4日(土)午後1時より2時、ふくろう絵工房(伊藤)、光芳堂(杉山)前にてススキを配付します(予約可)。玄関前に飾っていただけの方は受け取りに来てください。

大仏殿にて岐阜女子大学書道部の学生達が大作品を芸術的に揮毫!

初日の4日(土)午後3時からは、大仏殿にて岐阜女子大学書道部の学生さんらが袴姿で大筆による揮毫パフォーマンスを行います。たくさんの皆さまのご観覧をお願いします。この作品は11日まで大仏殿東道路側にて展示されます。

スタンプラリーの参加者にはぜんざいの振る舞いがあります!

最終日の11日(土)は、夕6時から(8時まで)スタンプラリーを開催します。スタートは大仏殿で、金華山とお月さまが美しい観賞スポット・般若寺を廻り、3つ目ゴールの伊藤家(ふくろう絵工房)にて、手づくりぜんざい(先着100人分)をお楽しみいただけます。雨天は振る舞いのみ有り。(部会長 伊藤逸夫)



マリーアンサンブルの皆さん



遊びの様子

ドを盛り上げ、70名ほどの参加を得て、岐阜ドルチエ団員「マリーアンサンブル」(松原、鈴木、江崎、高井氏)によるヴァイオリンとギターの演奏会を行いました。今回よりコンサートのみの七タイベントとなりますが、夕やみに迫る金華山をバツクに七夕の夜にふさわしい星と月をテーマにした10曲余りを披露していただき、参加者とともに楽しい夕べを過ごしました。

今年7月5日(土)「七夕コンサート」を木挽町般若寺にて開催。山門に七夕の笹飾り、参道には高木住職手づくりのキャンドルがムードを盛り上げ、70名ほどの参加を得て、岐阜ドルチエ団員「マリーアンサンブル」(松原、鈴木、江崎、高井氏)によるヴァイオリンとギターの演奏会を行いました。今回よりコンサートのみの七タイベントとなりますが、夕やみに迫る金華山をバツクに七夕の夜にふさわしい星と月をテーマにした10曲余りを披露していただき、参加者とともに楽しい夕べを過ごしました。

今年7月5日(土)「七夕コンサート」を木挽町般若寺にて開催。山門に七夕の笹飾り、参道には高木住職手づくりのキャンドルがムードを盛り上げ、70名ほどの参加を得て、岐阜ドルチエ団員「マリーアンサンブル」(松原、鈴木、江崎、高井氏)によるヴァイオリンとギターの演奏会を行いました。今回よりコンサートのみの七タイベントとなりましたが、翌20日(日)は好天に恵まれ、小さくに七夕の夜にふさわしい星と月をテーマにした10曲余りを披露していただき、参加者とともに楽しい夕べを過ごしました。

今年7月5日(土)「七夕コンサート」を木挽町般若寺にて開催。山門に七夕の笹飾り、参道には高木住職手づくりのキャンドルがムードを盛り上げ、70名ほどの参加を得て、岐阜ドルチエ団員「マリーアンサンブル」(松原、鈴木、江崎、高井氏)によるヴァイオリンとギターの演奏会を行いました。今回よりコンサートのみの七タイベントとなりましたが、翌20日(日)は好天に恵まれ、小さくに七夕の夜にふさわしい星と月をテーマにした10曲余りを披露していただき、参加者とともに楽しい夕べを過ごしました。

七夕コンサートを開催しました

部会長 伊藤 逸夫

大仏フェスティバルの遊びを担当

部会長 高橋かずえ

事務局だより

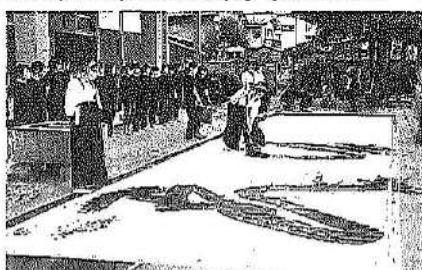
井の口まちづくり会事業報告と平成27年度事業計画

平成26年度事業報告

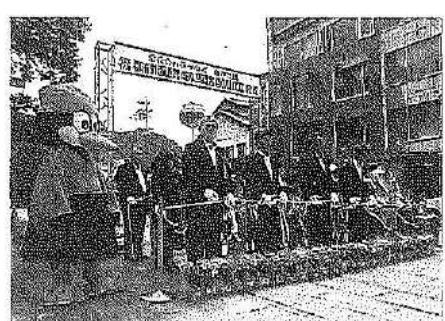
4月17日 第1回役員会 妙照寺
4月27日 定期総会 歴史博物館
特別講演 河合俊和先生
5月13日 地区内自治会長会議
正法寺（広報通信）
5月20日 第2回役員会 妙照寺
6月24日 第3回役員会 妙照寺
7月 5日 まちなか七夕コンサート
岐阜ドルチェ団員・マリー・アンサンブルの4人を般若寺に迎え、ヴァイオリンとギターのタバを開催。（まちなかアート）



7月19日 大仏フェスティバル協賛事業
～20日 子供たちを対象にしたゲームを担当（19日は雨で中止）。（イベント）
7月24日 第4回役員会 妙照寺
道路修景工事説明会（まちの風景検討）
9月10日 第5回役員会 妙照寺
9月10日 井の口まちづくり会通信
第15号発行（広報通信）
9月23日 御鮓街道ウォーク
旧御鮓所にて資料を配布し、パネルを用いて篠田壽夫氏が説明。（イベント）
9月28日 岐阜県歴史資料館特別開覧会
小川敏雄氏解説による特別開覧会を県歴史資料館にて開催。（まちの歴史探索）
10月4日 まちなかお月見アート
ススキをエリア内の家々に配布し、15時より岐阜女子大学書道部による揮毫パフォーマンスを正法寺境内にて開催。作品は11日まで大仏殿東側に展示。（まちなかアート）



10月11日 お月見スタンプラリー
エリア内のお月見3箇所を巡り、ゴールにてぜんざいの振る舞い。（まちなかアート）



工事はおよそ7年をかけ完成。歩行者と自転車の分離がされ、休憩スポットやせせらぎ水路が散策する人たちにやすらぎを提供しています。

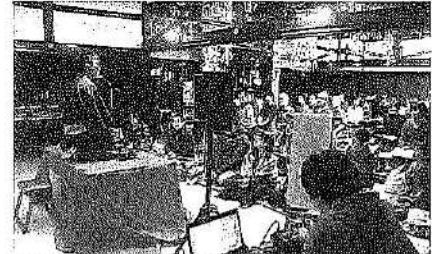
10月20日 第6回役員会 妙照寺
11月 1日 まちづくり団体の視察
福井市湊公民館の一行26名が来岐
歴史博物館会議室、地区内の散策
11月16日 日帰りバス視察研修旅行



安土城跡と資料館を見学し、昼食後は近江八幡を2グループに分かれボランティアガイドさんの案内で散策。帰りに彦根キャッスルロードで買い物。（まちの風景検討）
11月26日 第7回役員会 妙照寺
12月 7日 大仏様への年賀状募集開始
大仏殿に投函箱を設置し、投函と年賀郵便で1月7日まで受付。（まちなかアート）
1月 9日 大仏様への年賀状展
いただいた年賀状約300枚を11日まで画廊光芳堂にて展示。（まちなかアート）



1月13日 第8回役員会 妙照寺
2月12日 各部会合同会議 妙照寺
2月22日 井の口寄席



策伝大賞出演の学生落語家8名が妙照寺本堂に設けた高座で大熱演。中入りには恒例の豚汁の振る舞い。（イベント）
2月24日 第9回役員会 妙照寺
1月～3月 まちの文化的建造物の選定（まちの風景検討）

平成27年度事業計画のご案内 多数のご参加をお待ちしています

私たちの暮らすこの地域は、平成25年に「長良川中流域における岐阜の文化的景観」として国の指定がされた中に含まれます。この選定を励みに、当会が目的とする「このまちの歴史文化を知り、住んで楽しく、誇りの持てるまちを次世代に引き継ぐこと」の一層の推進を図っています。今年度の活動は以下の通りです。

会員並びに地域の皆さまと一緒に、このまちを知り、見て、触れて、聴くことで、さまざまな発見と楽しみが待っています。ぜひご参加ください。

4月29日 定期総会 歴史博物館
特別講演 黒田隆志歴史博物館館長

5月14日 地区内自治会長会議

正法寺（広報通信）

6月10日 井の口まちづくり会通信
第16号発行（広報通信）

7月 5日 まちなか七夕コンサート
演奏・歌 ドルチェ・フォルテ
般若寺（まちなかアート）

7月中旬 大仏フェスティバル協賛事業
子供たちを対象にしたゲーム
正法寺（イベント）

8月中旬 名和昆虫博物館の今昔物語
名和昆虫博物館（まちの歴史探索）

9月23日 御鮓街道ウォーク
旧御鮓所（イベント）

10月24日 まちなかお月見アート
ススキの配布（まちなかアート）

10月25日 子供たちとのアートイベント
講師 服部正志先生 大仏殿
スタンプラリー（まちなかアート）

11月中旬 町家のあったかい住み方と
町家の管理と保全

改修された地区内の町家の見学と
専門家の解説（まちの風景検討）

12月13日 大仏様への年賀状募集開始
～1月7日 大仏殿（まちなかアート）

平成28年 1月 8日 大仏様への年賀状展
～10日 光芳堂（まちなかアート）

2月中旬 各部会合同会議 妙照寺
井の口まちづくり会通信
第17号発行（広報通信）

2月下旬 井の口寄席
策伝大賞出演の学生落語家
豚汁の振る舞い（イベント）

年内 井の口マップ改訂版の発行
作成（広報通信）協賛金募集

通年 まちの文化的建造物の選定
(まちの風景検討)

※()内は所管部会名です

第5回 まちなか七夕コンサート 開催

●日時 7月5日(日) 午後7時開演(6時30分開場)

●会場 般若寺(木挽町・公園の湯斜め前・七夕飾りが目印)

●出演 ドルチェ・フォルテ(垣内裕子、前田陽子)

今年の七夕コンサートは、2010年よりユニットを組んで活躍されているドルチェ・フォルテのお二人をお迎えして、夕刻の金華山を見上げるロケーションのもと、皆さんお馴染みの曲などを素晴らしい演奏と歌声でお届けします。

●入場は無料。地域の皆さま、お子さま連れ、ゆかたでのご来場は大歓迎です。

金華「井の口マップ」改訂版を作成

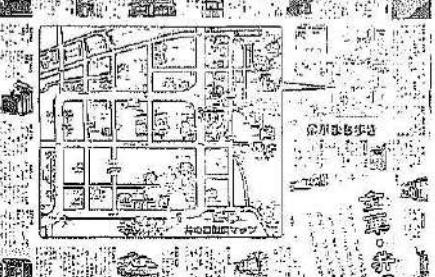
オモテ面カラー、内面2色印刷

平成21年春に初版を、24年春には改訂版を発行しましたが、残部がなくなり、新しく改訂版を補助金を受けて発行する運びとなりました。

年内の完成を目指し、まちの見どころや歴史文化、さらに、まちづくり会の活動などを紹介していく内容です。

●マップ改訂版作成に対して、協賛金をお願いします。

井の口まちづくり会で発行しているマップではありますかが、会費と国からいただく補助金では不足しており、エリア内の店舗、企業、法人の皆さまへ協賛金のお願いに役員が伺います。期間は9月～11月頃、1口3,000円の予定です。



5月28日(木)午前11時より、岐阜駅高架線桿川工区の完成式が歴史博物館前で行われました。市長等によるテープカットとくす玉割りのセレモニーに、井の口まちづくり会からは堀智仙副会長が列席いたしました。思わず歩きたくなる美しい景観。植栽や水路、桿川橋跡は説明板も設置されました。

工事はおよそ7年をかけ完成。歩行者と自転車の分離がされ、休憩スポットやせせらぎ水路が散策する人たちにやすらぎを提供しています。
河崎さん、空の上から見していく
ださいますか？「よくやっているな
あ」と褒めていただけのよう辞めず
れの言葉を思い出し、方向性だけは
見失わないようにと思っています。
仕事と同様に気にかけた「井の口ま
ちづくり会」の活動は、会長はじめ役
員や部会員、会員によつて引き継が
れていますが、支える人たちこそぞ
れの思いもあつて変化しています。
河崎さん、空の上から見していく
ださいますか？「よくやっているな
あ」と褒めていただけのよう辞めず
れの言葉を思い出し、方向性だけは
見失わないようにと思っています。

編集を終えて

馬場わかよ

この6月は前事務局長の河崎さんが亡くなられて3回忌になります。彼が闘病中の最後まで、ご家族や

会の目的、活動内容について丁寧に説明していただき、エリア内の人たちの参加が増えるのではないかと

改めて気づいたことも多々あり、そ

れらは貴重なご意見として今後の活

動に活かしていきます。

自治会長さんからは、このように

資料も用い、地域の歴史的特性や發

足に至る思いなどを説明させていた

だき、ご理解をいただきました。

ご意見に對して、マップなど参考

資料も用い、地域の歴史的特性や發

足に至る思いなどを説明させていた

だき、ご理解をいただきました。

それについて発言された意見の中

で、当会の「井の口まちづくり会」

という名称が重々しく、外から見て

いると近づきがたく、参加しづらい

感がある。また、「井の口」の意味、

「まちづくり」の目的が分からぬ

との声をいただきました。

それについて発言された意見の中

で、当会の「井の口まちづくり会」

を正法寺にて設けました。

私共からは会の活動について資料

で説明し、自治会長さんのご協力が

必要ですとお願いしました。また、

井の口エリア内の住民の皆さんの参

加が少ないとお話ししました。

それについて発言された意見の中

で、当会の「井の口まちづくり会」

を正法寺にて設けました。

私共からは会の活動について資料</

井の口まちづくり会通信

井の口まちづくり会 設立・平成20年3月23日
発行・平成28年2月20日・第17号通信
責任者・小林 孝夫(井の口まちづくり会会长)
〒500-8018 岐阜市大仏町8 ☎058-264-2760
事務局長・名和 利夫 ☎058-263-0097
通信編集作成・馬場わかよ

新「金華・井の口マップ(3訂版)」を発行!

十六銀行からまちづくり会へ寄付金

井の口まちづくり会は発足以来8年を経過し、この4月から第9年目に入ることになりました。

この間、会員はもとより地域の皆さまのご理解とご支援のもと、いろいろなイベントや勉強会、調査研究など活発な活動を展開してきたところであります。

こうした活動がこの度、十六銀行より高く評価されるところとなり、地域の皆さんに井の口まちづくり会の活動がよりお役に立てるようになると、10万円の寄付金をいただけることになりました。

当会にとつてこの寄付金は、民間からの寄付金としては第1号ともいえるものです。

会員一同、この貴重な寄付金を大切に活用させていただき、今まで以上に地域の皆さんと一体となつてまちづくり会の活動に取り組み、十六銀行のご期待に応えていくよう努めてまいります。

(堀 達夫)

「金華・井の口マップ」をご活用ください

井の口まちづくり会の活動区域である井の口エリアの情報を満載した「金華・井の口マップ」を、このまちを訪れる多くの方たちのまち散策に役立てていただきたいと思います。マップを置いていただける商店・企業様、また個人やグループなどでまちを訪れる方に手渡しいただける活動をされている方は、通信右上記にある会長・小林あるいは事務局長・名和まで、電話にてご連絡ください。無料で差し上げます。

まちの風景検討部会による勉強会を開催します
～町家のあつたかい住み方～「町家の保全と活用」
3月6日(日)午前10時 河村邸前参集(下葵屋町) 20名(会員限定)



講師左上：いただく河合俊和氏

らに、この勉強会で岐阜市にぎわい
まち公社「ぎふ景観まちづくりファン
ド」の補助金等の説明もあります。
お申し込みは2月29日までに部会
長名和（FAX264-1079・
TEL263-0097）へ氏名・住
所・電話番号をお願いします。当日
入会員も参加可です。（名和利夫）

井の口地区の歴史的・文化的なたずまいを醸し出すのは、町家の豊觀です。日常的に目にしている町家の風景ですが、外から眺めることはあっても中に入つて見せていただくことはなかなかありません。

そうした町家の内部を見学し、町家の特徴、歴史、保存について、一級建築士で古民家再生の設計監理業務に長く携わつてこられ、ご自身も小原屋店主として町家暮らしをされている河合俊和さんに講師をしていただきます。参加費は無料です。

また、町家にお住まいの方も改めて町家の価値を知ることが建物の保全と活用につながると考えます。さ

芯柱が宙に浮いた造りです。これまでも小規模な改修工事は行われてきましたが、大部分は建設当時のままであります。調査段階で旧コンクリート製基壇の一部の発見があつたおり、塗装調査で建物全体が朱色ではなく、軸部は丹塗で、窓の連子格子は緑青色であつたことも判明し、扉なども古い写真と合わせ見て、当初の姿の再現が検討されていきます。

工事期間は平成29年2月(予定)まで。現在、三重塔は柱、梁を残して全て解体されていて、部材を調査判別したのち、可能な限り再使用して元のかたちに組み建てられます。

井の口エリアのマップが新しくなりました。20年度の初版に23年度改訂版を加えた7万部の在庫が底をつき、新たに3訂版として4万部を、文化庁文化芸術振興補助金の助成を得て作成しました。今回は、片面フルカラー印刷となり、井の口エリアの施設情報がとても見やすくなっています。ぜひ地域の皆さんもご活用ください。

そもそも「金華・井の口マップ」の作成は、私たち井の口まちづくり会が設立時に活動の拠点としているエリアを「知る」とから始まりました。時代の変化とともに

印刷のマップを4万部作成

「井の口寄席」休止のお知らせとお詫び

岐阜市が毎年2月に開催する「策伝大賞」決定日の夜、井の口まちづくり会・イベント部会が行ってきました「井の口寄席」ですが、今回、受け入れ体制ができず、残念ながら休止させていただきます。楽しみにしていらした皆さまに、お詫びいたします。

定期総会のお知らせ

平成28年度定期総会の開催日程をお知らせします。会員の皆さん参加をお願いします。
日時：平成28年4月29日(祝) 午後1時30分
(受付開始は午後0時30分から)
場所：岐阜市歴史博物館 1階講堂
○総会特別講演につきましては準備中です。

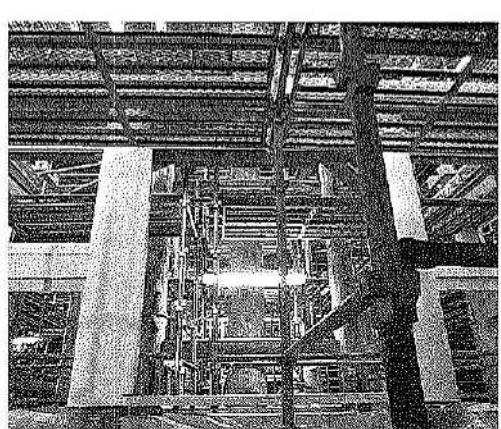
まちなかお宝アート発見

美しくよみがえる二重塔

赤い三重塔があつた場所です。

大正6年、大正天皇の即位記念に
と建てられた三重塔は、その前年、
鉄橋に架け替えられた長良橋の古材
を利用したものといわれます。

設計は伊東忠太博士、建てる場所
は日本画の巨匠・川合玉堂が選定し
ました、曾博文(とくも)、日比良(ひら)



井の「まちづくり会」では、工事期間中である28年度事業として、会員の皆さまと「三重塔修復整備工事」を見学会を開催する計画しています。滅多にない三重塔の内部を見られるチャンスです。（馬場わかよ）

平成27年度・井の口まちづくり会・各部会活動報告

「名和昆虫博物館の今と昔」

日本最古で世界的にも知られている昆虫専門の博物館、100年の歴史と昆虫の世界の不思議について、昨年8月23日(日)名和哲夫館長より1時間30分にわたりお話を伺い、引き続き博物館内を見学いたしました。

ギフチョウの発見者名和靖翁が明治29年私設の名和昆虫研究所を京町に設立され、やがて岐阜市の要請により岐阜公園に移転し、大正8年名和昆虫博物館の開館となっています。

現在5代目の館長である哲夫氏により、自主運営されている経過などを40人ほどの参加者が熱心に聞き入りました。
(堀 達夫)



「まちの風景検討部会

「まちの文化的建造物」顕彰

井の口まちづくり会「まちの文化的建造物」に昨年の第1回顕彰では建物管理者様の承諾を得られた7邸を選定。今年度は登録されている建物35邸の中から、選考対象とした建物は18邸で、選定条件は、明治、大正、昭和(戦前)に建てられた歴史的建物であること。次に、建物の外観が当時の状態で良好に保たれていること。また戦後の建物では、歴史尊るこのまちの特性に配慮がなされていることなどです。

年度末までに部会、役員会で協議をし、承諾を得られた6邸の方に、4月29日の定期総会後セレモニーにおいて、感謝の気持ちを表すとともに標札をお渡ししました。
(名和利夫)



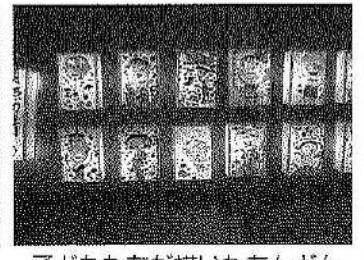
「イベント部会

「大仏フェスティバル」協賛事業

7月18日(土)、19日(日)の大仏フェスティバルで井の口まちづくり会は、子どもゲームを担当しました。連日の土砂降り雨も当日昼頃には上がり、スタッフ総出で水たまりの水を取り除き準備OK。

午後5時からの子どもゲームでは、「ジグザグ競争」「ふたりでタッチ」「新聞貼り付けダッシュ」とともに標札をお渡ししました。

就学前の子から小学校6年生ぐらいまでと、年齢幅がある子どもたちが2日間、歓声を響かせ、協力しながらゲームを開きました。
(高橋かずえ)



〔私たちといっしょにまちづくり会活動を楽しみませんか?〕~各部会長からのPR~

井の口まちづくり会では、平成28年度に向けた新部会員を募っています。歴史と文化を感じるまちへの思いを形にしていきましょう。

広報通信作成部会

部会長 馬場わかよ

皆さんに「井の口まちづくり会通信」をお届けし、当会の活動内容を知っていただくことをいちばんの目的に作成しています。また、「金華・井の口マップ」も設立年から作成しており、今回で3訂版、総数11万部の発行になりました。訪れる人たちにこのまちを知っていただき、住んでいる人たちには、誇りと愛着を感じていただければうれしいです。取材に訪れることもありますのでよろしくお願ひいたします。

まちなかアート部会

部会長 伊藤逸夫

当部会は、上記通信にある「まちなか七夕コンサート」「まちなかお月見アート」「大仏様への年賀状展」の年3回の事業を開催しております。これらは全て企画も運営も部会員の手づくりによるものです。また、「アート」を部会名に付けるのは、この美しい井の口地区に磨きをかけ素敵なまちと言わせたいからです。まちに活気と賑わいをもたらせるため、楽しいイベントを今後も続けていけるよう頑張ります。

イベント部会

部会長 高橋かずえ

イベント部会ではこれまで、①7月、大仏フェスティバル協賛・子どもゲーム ②9月、御鮎街道ウォークへの協賛 ③2月、学生落語家たちによる「井の口寄席」開催の3つを行ってきました。井の口寄席では女性部隊の日頃の腕前が發揮された具だくさんの温かな豚汁もふるまわれ、落語と共に喜ばれています。これからも、地域の手作りイベントの魅力を広げていきたいです。いっしょに活動しませんか。

まちの風景検討部会

部会長 名和利夫

まちづくりの基本は、まちの見た目だと考えます。見た目が良ければ、住んでいる人は心地よく、まちを誇らしく思います。また、まちを訪れる人にも心地よいものとなります。井の口は、400年前からの町割りを基本に金華山の豊かな自然と歴史が調和した地域です。こうした環境の中で暮らしていく人たちの気持ちが同じになることが、まちの見た目の維持、向上になると想っています。

まちの歴史探索部会

部会長 杉山周三

部会のテーマは「温故知新」。古きを訪ね新しきを知る井の口地区には、歴史的、文化的に見て貴重な遺産や施設が多く残されています。その一つひとつを再認識し、次の世代に引き継いでいくと「斎藤四代記」なり、「名和昆虫博物館の今と昔」などの講演会を地区内で開催してまいりました。このまちの歴史に关心がある皆さん、部会に入っていっしょに取り組んでみませんか。

井の口まちづくり会通信

井の口まちづくり会 設立・平成20年3月23日
発行・平成28年10月1日・第18号通報
責任者・小林 孝夫(井の口まちづくり会会長)
〒500-8018 岐阜市大仏町8 ☎058-264-2760
事務局長・名和 利夫 ☎058-263-0097
通信編集作成・馬場わかよ

この秋に開催するイベントを紹介します

まちなかアート部会 10月10日(祝)~15日(土) まちなかお月見アート(クイズラリー)

10月15日(土) 午後6時~7時30分・妙照寺に集合

10月13日の晩秋の名月・十三夜にあわせ、7回目となる「まちなかお月見アート」を開催します。金華山にかかる美しいお月さまをいっしょに愛でましょう。

町並みにススキ飾りの6日間

ご自宅の玄関先にススキを飾っていただける方は、10月10日(祝)午後1時~2時、伊藤家(ふくろう絵工房)、杉山家(画廊 光芳堂)にてススキを無料配付します。事前予約可。美しいススキ飾りのある町並みの創出を16日の朝までご協力ください。

井の口の町並みを歩く(クイズラリー)は、妙照寺で一人ずつ鐘をついて出発

満月に当たる10月15日(土)は、夕18時から(19時30分まで受付)クイズラリーを開催します。スタートは芭蕉さんが滞在したことでも知られる妙照寺。一人ずつ鐘つき堂で鐘をついてマップを手に出発です。井の口の町並みにある美しい「しつもん」をすべて探し、マップに答えを書きこんだらゴールへ。ペンを持ってきていただけるとうれしいです。

ゴールの伊藤家(ふくろう絵工房)では、手づくりの美味しいぜんざい(先着100人分)を用意しています。小雨決行。雨天はぜんざい配付。参加費無料。(部会長 伊藤逸夫)

市民参画賞を受賞!

10月3日住民自治推進大会にて

井の口まちづくり会 会長 小林 孝夫

平成28年度市民参画賞に「井の口まちづくり会」が選考されました。この賞は、自発的な活動によりまちづくりに先導的な役割を果たしたもののが功績を讃えることを目的とし、平成14年に岐阜市が創設したものです。選考の活動区分は都市景観の保全であります。私たちの活動内容のほとんどがその評価の対象にされています。国の文化的景観重要地区や日本遺産の認定エリアに位置付けられている井の口での活動は、必然的に歴史文化やとりまく景観に深く関わり合いを持っているのでしょうか。まちづくり会では、この歴史を勉強する機会も設けています。今年度の総会の特別講演もそうですが、私たち開催する歴史講話会もそうです。こうした機会をとおして何気なく感じる風景や、人々の生業(なりわい)も実はとても重要な意味を持つていることを教えられます。今回の市民参画賞の受賞で、改めて井の口まちづくり会活動の意味合いを感じたいものです。

井の口まちづくり会の活動には、お住いの方々のご理解が不可欠です。特に、事業に関する広報には自治会の協力なくして成り立たないと考えております。お集まりいただけた方々からは、ご理解に留まらず会費による活動支援もいとわないなどのご意見やご提案を複数いただき、まちづくり会にとつてもうれしいひと時となりました。これからも役員一同、地域の皆様のご支援のお気持ちを裏切ることがない活動を継続していきたいと決意するとともに、多数の皆様の参加を願っております。(小林孝夫)

まちの風景検討部会 日帰りバス視察研修 宇治市・宇治橋周辺 11月6日(日)

参加費4,000円 定員45名(まちづくり会員限定) 先着順・受付開始10月15日午前9時から(定員になり次第締め切ります)

今回で6回目、隔年開催となりました日帰りバス視察研修は、宇治茶と文化遺産で有名な宇治市の平等院に接する三角形街区の町並みに決定しました。宇治橋の南に位置する三角形街区を中心に視察し、美しく改修されたばかりの平等院を訪ねます。

参加を希望される方は、裏面左下の申込書を下記申込み先へ提出してください。今回は遠方のための高速代とバス代の高騰等により参加費を上げさせていただきました。

- 申込み先 正法寺大仏殿受付へ先着順(小林会長宅)
- 参加費用 4,000円(昼食・押録料込み)集合場所受付にて当日の納金です
(※当日と前日のキャンセルには、参加費を後日徴集させていただきます)
- 集合日時 11月6日(日)午前7時30分(8時出発)(帰宅時間は18時30分頃を予定)
- 集合場所 岐阜公園・名和昆虫博物館 東側 (部会長 名和利夫)

エリア内・自治会長会議を開催

井の口エリア19町内の自治会長様にお集まりいただきました。目的は、井の口まちづくり会の活動のご理解とご協力をお願いするもので、毎年4月の総会後に各自治会長様へ会議ご参集のお願いを行っております。

今年も多くの自治会長様のご出席をいただき、総会の資料と通信、マップをもとに活動内容を紹介しました。よくご存じの方もお見えでしたが、一様に活動を評価していました。

まちの歴史探索部会 歴史講話会 信長をめぐる女性たち

信長と結婚後、消えてしまった濃姫の去就はいかに?
今回、濃姫を中心信長をめぐる多くの女性と息子たちの戦国時代以降の生きざまを掘り下げてみたいと思います。

10月23日(日) 午後2時~3時30分・妙照寺(梶川町) 定員40名(先着順・定員になり次第締め切ります) 参加費無料

- 開催日時 10月23日(日) 午後2時~3時30分
- 開催場所 妙照寺(梶川町)
- 講師 土山 公仁氏(岐阜市歴史博物館 学芸員)
- 定員 40名(参加費無料・どなたでも参加していただけます)
- 申込み先 まちの歴史探索部会 部会長 堀 達夫(090-2573-2023)



コーヒーには武将の名を、紅茶他には奥方の名をつけたカフェ茶人の入り口
中庭に立つご夫妻 (馬場わかよ)

旅行客や女性が多いのですが、モーニングも好評で常連客も増えています。定休日は、水曜・木曜日。朝9時~午後4時までと決まっていますが、大好きなことをする時間を確保するために、気ままにやっていると口を揃えられます。(馬場わかよ)

空き家になっていた築約100年経つ奥様の実家を改装した、町家の温もりと新しさの加わった素敵な店内では、ご主人こだわりの岐阜三大畜産物(飛騨牛、美濃けんとん、奥美濃古地鶏)を使ったランチを提供しています。おすすめは「飛騨牛入りロコモコ」と「莊川もりそば」、珍しいところでは白川茶で作った紅茶です。

長年、公務員として獣医を務めていたご主人は、畜産を愛し、戦国武将の名をメニューにしてしまっており、奥様は民謡三味線をたしなまれ、旅行が大好き。ハワイは一人にとって特別な場所です。そして、何よりも岐阜県愛に満ちあふれていて、店内で提供している食材はもちろん、器は土岐の美濃焼、スプーンや箸は春慶塗りという徹底ぶりなのです。

木挽町のバス停前に今年6月24日Cafe Chat(カフェ チャット)がオープンしました。

まちなかお宝アート発見
町家を再生 カフェ 茶人

井の口まちづくり会通信

井の口まちづくり会
設立・平成20年3月23日
発行・平成29年4月10日・第19号通信
責任者・小林 孝夫（井の口まちづくり会会長）
〒500-8018 岐阜市大仏町8 ☎058-264-2760
事務局長・名和 利夫 ☎058-263-0097
通信編集作成・馬場わかよ

設立10周年を迎える記念事業を開催予定

5周年記念「井の口のお宝展」

平成24年8月開催の写真をピックアップ



設立5周年記念「井の口のお宝展」は、残暑厳しい8月25日・26日の開催でした。エリア内に、「井の口の今昔」と題した写真展のなうふ会場、会員出展による「私のお宝展」の河村家会場、「のぼり鯉造作展」の河合家会場、寺宝公開と特別企画「杉山家所蔵書簡展」を開催した妙照寺会場、長さ5mにも及ぶ大涅槃図を公開していただいた正法寺の大仏殿会場をまちづくり会で企画・開催しました。

名和昆虫博物館や円空美術館では入館料の割引き、常在寺・大仏殿も特別拝観料にしていただくなどに加え、地域内のお店や企業、一般のお宅の玄関先でも、開催日時に「井の口のお宝展」の趣旨に添って“お宝”を展示していただきました。

なかでも、会員出展の河村家では盆石の実演があったり、出展者と来場者との語らいが多く見られ、このまちと住民の皆さまの温かさを感じられる会場となっていました。

金華エリアの新しいまちづくり会として産声をあげてから、10年目を迎えます。この10年を振り返れば、本会の初代会長である堀達夫様をはじめとする先輩諸氏や、陰で支える専門家集団、行政関係者の皆さまのご尽力と、活動へのご支援、ご協力をいたいている住民の皆さまのお陰であり、この節目に際して改めてお礼申し上げます。しかし、まだまだ事業へ参加される住民の実数は多くありません。ご遠方から参加される方々の割合が予想より多く感じています。エリア外の方々でも活動趣旨に賛同される会員も多くおみえですが、言うまでもなく、まちづくりの主人公はその住民です。地域に根差した活動を今後とも大切にしたいと思っています。

節目の今年はその一つと捉えた、記念事業を企画します。内容は多くの方々から評価をいたいたい5周年記念事業「井の口のお宝展」を踏襲したいと考えています。メイン企画は、井の口の時代変化の写真対比と古地図の展示。そして、まち並みの探索ツアードです。その他の計画としては前回同様、皆さまの思いが詰まった作品や珍しい品物、懐かしい品物などの展示も行いたく、エリア内の皆さまからの提供をお願いしたいと思っています。また、時間を決めた店先や玄関先の開放もお願いし、その事業当日は地域住民によつて井の口エリアの魅力を充分に表現し、住民一人ひとりによるまちの新たな発見と来街者への見聞の広がりを実現したいと思つていています。ぜひ、次世代への歴史文化の継承へと繋がる一日となることを期待しております。

10周年記念事業開催に向けて、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。事業当日は地域住民によつて井の口エリアの魅力を充分に表現し、住民一人ひとりによるまちの新たな発見と来街者への見聞の広がりを実現したいと思つていています。ぜひ、次世代への歴史文化の継承へと繋がる一日となることを期待しております。

10周年記念事業開催に向けて、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

「井の口まちのお宝展」Vol.2にご協力願います

井の口まちづくり会 会長 小林 孝夫

●日時 平成29年4月29日(祝・土) 午後1時30分
(受付開始は午後0時30分から)

●場所 岐阜市歴史博物館 1階講堂

今年、井の口まちづくり会は、発足から10年を迎えます。まちづくりは地元の皆さまのご支援、ご理解があつての活動とを考えます。28年度も当会の年間を通じた各種イベント、講演会、視察研修に地元を含む多数の参加をいただきました。つきましては、会員の皆さまをはじめ多くの方に、当会の活動へのより一層のご理解を深めていただきため、また、会員相互の結束を図るうえでも、定期総会への出席をお願いします。当日の受付にて、平成29年度の会費をお願いしています。入会希望の方もぜひ、ご来場ください。

(名和利夫)

外から見た岐阜

地域史研究家、エッセイスト 松尾一先生

10周年記念特別講演

10周年記念特別講演の内容は、「外から見た岐阜」がテーマ。

近世交通史や地域史を専門に研究されている松尾一氏が、私たち地元の人は見慣れてしまつて気づかない井の口ならではの事柄や、井の口は岐阜市の中での観光地という視点から、そのおもてなしの話などを語ります。

(名和利夫)

松尾一氏のプロフィール
昭和22年(1947)5月21日生まれ。
近世交通史、地域史がライフワークで、岐阜および中部地方の過去、現在、未来を探訪している。
著述、講演・パネラーなど幅広く活動中。
*「正・続・岐阜は名古屋の植民地?」(まつお出版)は20週あまり岐阜県の有名書店でベストセラーとなった。

第4回「まちの文化的建造物」顕彰

第4回目となる「まちの文化的建造物」の顕彰式を、平成29年度定期総会の席にて行います。

町家の魅力を再認識していただくとともに、建物にお住まいの管理者様へ敬意を表すもので、顕彰する建造物は今年は6邸を予定しており、現在選定調査を進めています。

平成26年度7邸、27年度6邸、28年度5邸と同じ井の口まちづくり会の顕彰札を贈呈させていただきます。

部会活動をいつしょにしませんか?

井の口まちづくり会では、イベント部会・まちの風景検討部会・まちの歴史探索部会・まちなかアート部会・広報通信作成部会が活動しています。

10周年記念事業を迎えるに当たって、新たな人材の掘り起こしを図っています。地域貢献をしたいと考えてみえる方、仲間づくりをしたいと思ってみえる方、他薦、自薦を問わずどなたでも総会の受付で私たちに声をかけてください。



看板はお母さんの笑顔

木曜日定休 営業時間:午後4時~10時

まちなかアート観
まちの銭湯「公園の湯」
市内でも8軒と数少なくなった銭湯の「公園の湯」。今日も開店の4時には外にお客さんが待っています。看板お母さんは御歳91歳、5年ほど前に大腿骨の骨折治療に加え、膝の手術をしてまで店に座り続けています。裏方は娘さんの手伝いがあるものの、お客さんから「ここが辞めたら、行くところが無くなるで」の言葉に励まされ、嫁いで70年間、ずっと現役で銭湯を守つてきました。

昭和10年の開業当初は「弁天湯」、改装時に現在の「公園の湯」に改名しました。横にはお孫さんが経営する「楽座接骨院」があり、足の悪いおばあちゃんの心強い支えになっています。お湯は温泉と同じ弱アルカリイオンのやさしい水。日替わりで9種類の薬草ハーブ湯を変更し、大人420円、小学生150円、幼児は70円です。サウナも完備されていて、ご利用はプラス80円でバスタオル付きです。近隣の銭湯やスパ・銭湯の廃業もあって、遠くからも車や自転車でお客さんが訪れて来ます。家にお風呂があつて当たり前の時代ですが、大きな湯船に浸かる醍醐味が味わえる銭湯に、たまには出かけてみるのも楽しいですよ。

(馬場わかよ)

井の口寄席は大入り盛況!

会場・妙照寺本堂

井の口まちづくり会では設立当初より、落語の腕を競う全日本学生落語選手権「策伝大賞」にやつて来た大学生・大学院生を策伝大賞決定日の夕方に妙照寺本堂の特設高座に招いて、「井の口寄席」を開催してきました。

昨年は共催団体の都合で初めて中断しましたが、再開となつた2月26日は、5時半の開場前にすでに何人もの方が寒戻りの中を待つてみえ、決勝会場から追つかけの方もいて、当夜の入場者は84名、スタッフを入れれば100名以上の大盛況でした。毎年お見かけするお顔も多く、このイベントへの期待が伺えます。



満員の会場風景

後半は岐阜大学2年の鶴飼家みりんさんと大学院1年の鶴飼家つきみさんが上がり、つきみさんは決勝で450賞に輝いた逸話をユーモアたっぷりに披露しました。第13回昨年の策伝大賞を受賞した関西学院大学3年四笑亭笑ん太さんには注目が集まり、関西大学4年の千里家ジュニアさんが玄人好みの渋い語りでトリを務めました。

全演目が終わり、最後に出演者8名の中からいちばん笑いを取った人を拍手で選出。判定には当まちづくり会の役員3名が当たり、たくさんの方々が「井の口笑賞」に決まり、伊藤副会長特製の楯が贈呈されました。

最後に挨拶に立った杉山副会長が、「過去の出演者から芸能人も出たが、この中からプロが誕生することを願っています」と、

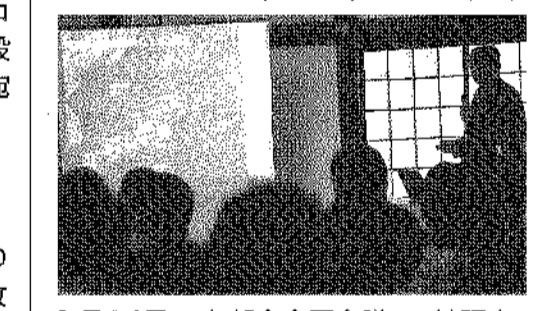
ホールを送りました。(馬場)



1月18日 第9回役員会 妙照寺
2月21日 第10回役員会 妙照寺
2月26日 井の口寄席 妙照寺

学生まちなか寄席のNPO・ORGANと共同で開催しています。(イベント)

3月4日 町家の勉強会 妙照寺
「熊本地震から学ぶ木造住宅の備え」
京都大学大学院・林康裕教授に地震に対する建造物の保全と備えの必要性をお話しいただきました。(まちの風景検討)



3月14日 各部会合同会議 妙照寺
1月~3月 まちの文化的建造物の選定
(まちの風景検討)

市長賞を獲得したばかりで駆けつけた東京大学大学院1年の永福亭灰松さんが熱演しました。高座には4名が中入り前に登場。その最終には、決勝に進出し、満席の観客に乗せられ学生さんたちも瞬時に熱が入ります。きど錢は、中入りによる具だくさんの豚汁が付いて300円です。このきど錢は全額NPO団体と学生さんに提供しています。



杉山副会長と「井の口笑賞」受賞者(右端)

4月21日 第1回役員会 妙照寺
4月29日 定期総会 歴史博物館
総会特別講演は、岐阜市教育委員会社会教育課歴史遺産活用推進係長の高橋方紀氏から「発掘調査と宣教師の記録から見た岐阜城・織田信長公の居館跡」と題し、居館跡の発掘から得た成果などを発表いただきました。

5月16日 地区内自治会長会議 正法寺
井の口地区内の多数の自治会長様に出席いただき、当会の説明に対し貴重なご意見をいただきました。(広報通信作成)

5月27日 第2回役員会 妙照寺

6月 8日 三重塔見学会

金華山麓に建つ修復整備工事中の登録有形文化財「三重塔」の会員限定学習見学会に34名が参加しました。(まちの風景検討)

6月27日 第3回役員会 妙照寺

7月 2日 まちなか七夕コンサート
津軽三味線kotobukiの西尾契代さんを般若寺に招き、懐メロから迫力ある津軽じょんがらまで演奏していただき、七夕のタベを大勢で楽しみました。(まちなかアート)

7月23日 大仏フェスティバル協賛事業
~24日 子供たちを対象にしたゲームを企画・担当し、両日とも60人ほどの子供たちが参加しました。(イベント)

7月27日 第4回役員会 妙照寺

9月 5日 第5回役員会 妙照寺

10月 1日 井の口まちづくり会通信

第18号発行(広報通信作成)

10月 3日 市民参画賞 受賞

10月 4日 第6回役員会 妙照寺

10月10日 まちなかお月見アート
~15日 クイズラリー

10日はエリア内のお宅にススキを配付し、まち並みに6日間飾っていただきました。15日は6時から妙照寺の鐘突堂で鐘をついてスタート。マップを片手に月明かりの中をクイズに答えながらのまち並み散策をし、ゴールの伊藤家で会員手作りのせんざいを振る舞いました。(まちなかアート)



10月23日 歴史講話会 妙照寺
「信長をめぐる女性たち」

歴史博物館学芸員の土山公仁氏に今もって定かでない濃姫の生涯、さらに信長と生駒氏の三人の息子や子をもうけた多数の女性たちについて、さまざまな史料を基にお話を伺いました。(まちの歴史探索)



11月6日 日帰りバス視察研修旅行
「宇治市・宇治橋周辺」

隔年開催の視察研修に38名の参加を得て秋晴れの早朝を出発。3グループに分かれてボランティアガイドの案内で宇治市まち歩きコースをめぐり、改修されたばかりの平等院を見学しました。(まちの風景検討)



11月15日 第7回役員会 妙照寺

12月12日 大仏様への年賀状受付開始
大仏殿と岐阜公園総合案内所、メディアコスモス、あい愛ステーションに投函箱を設置し、年賀郵便とで1月5日まで大仏様宛の年賀状を受付ました。(まちなかアート)

12月19日 第8回役員会 妙照寺

1月6日~8日 大仏様への年賀状展
今回も岐阜小児童や明照幼稚園年長児の年賀状もたくさんいただき、総数約380枚を画廊・光芳堂にて展示しました。
観覧に訪れた差出人には大仏様への拝観券をお渡しました。(まちなかアート)

この一年間の主な事業を掲載しました。当まちづくり会のいちばんの課題は、地元井の口地区にお住まいの皆さまの参加が少ないことです。まちのにぎわいや活性化、連帯感をつくりたいと知恵を絞り、汗をかいて頑張っています。どなたでも参加していただけるイベントがたくさんあります。ぜひ、お出かけください。

日帰りバス視察研修

今回の視察先は、国の文化的景観に選定された都市部では数少ない先輩都市である京都宇治市です。井の口エリアと類似する風景を感じとれました。現地では宇治市歴史まちづくり推進課の杉本氏から文化的景観選定エリアの説明を受け、ガイドによるまち並み散策を実施。宇治茶を基軸にしたまちの生業は今なお活きた商業地でありながらも、住居系が多く、空き家問題も点在していました。井の口に置き換えて学ぶ点も多くあり、有意義な研修旅行となりました。(小林孝夫)

● 視察研修の参加者アンケート結果から

- ・ 開催時期については、84%が満足
- ・ 研修地の選定については、97%が満足
- ・ 研修地公民館での事前説明に、97%が満足
- ・ ボランティアガイドについて、84%が満足
- ・ 研修参加費用については、88%が満足
- ・ 次回の研修旅行には、74%がまた参加する

(お茶に関するところが多く、現代につづく歴史を知ることができた。成り立ちの違う空き家を活用しようとしている動きがよかつた。新しいもの在来のものが混在していた。旧家が残っている。新と旧のまち並みが極端。古い道と現代の道が分かれるのがよかつた。石畳が素晴らしい。きれいにしている。よく清掃されている。店が多い。休日のこともあって人が多い。井の口は住宅系、宇治は狭小変則が味がある。店舗に活用している町家が多くた。見て買い物をするところが多い。宇治には平等院という圧倒的なシンボルがある。)



宇治の平等院の前で全員で記念撮影

井の口まちづくり会10周年特別企画

◎ 平成29年度 岐阜市市民活動支援事業 採択事業

11月4日(土)・5日(日)

(イベント部会)

まちなか案内人と行く「井の口探索ツアー」参加者募集

【ミュージアムコース】

井の口は民間の博物館や美術館、画廊・ギャラリーが多く点在するまちです。ツアーでは、館内で展示作品や作家などについてオーナーや館長から特別解説があり、通常の入場ではなかなか知ることのできないアートや知識に出会えます。

11/4(土) ①10:00~12:00
②13:30~15:30

コース内容(順序不定) 定員 各20名

画廊光芳堂(「郷土が誇る日本画家展」を鑑賞)
なうふ現代(現代アート作家「井田幸昌展」開催)
小さい家(町家を改造した若手作家中心のギャラリー)
名和昆虫博物館(標本数30万点以上の民間博物館)

【伝統産業・生業コース】

古くから和紙や竹を使った伝統産業の工房や会社がこのまちに残っています。その産業の歴史的背景を知り、提灯やのぼり鯉の制作見学もします。また、生業として伝え残す努力と新たな産業としての創意・開拓などの実情を見学します。

11/4(土) ③10:00~12:00
④13:30~15:30

コース内容(順序不定) 定員 各20名

安藤商店(提灯の絵付け実演・雛巣(人形の展示場))
丸市木村商店(洗い格子の町家造り商店を見学)
小原屋商店(和紙で作る「のぼり鯉」の制作実演)
宇野カバン店(手づくりカバンの店)

【お月見de狂俳コース】

「まちなかお月見アート」との併催行事この地で古くから親しまれていた狂俳。妙照寺の芭蕉の間でその魅力の解説とお題の発表を受け、金華山にかかる望(満月)の出を待ちながら、ススキ飾りがされた美しいまち並みを散策します。さらに、大仏殿や般若寺の庚申堂の夕暮れ拝観なども楽しんで、狂俳を一句つくっていただきます。

11/4(土) ⑨16:00~18:00

コース内容(順序不定) 定員 30名

妙照寺・芭蕉の間(狂俳の説明・岐阜中社事務局)
般若寺・庚申堂(金華山を臨む庚申堂特別公開)
正法寺・大仏殿(開館時間の夕暮れ特別拝観)
ススキ飾りの下茶屋町や曲家のまち並みを散策
ふくろう絵工房にて呈茶券でぜんざい

※集合場所: このコースのみ妙照寺西門口

信長公450周年【まちの歴史探訪コース】

信長公450周年にあわせ、道三、信長がつくった城下町の町割りが今も残る井の口の歴史を訪ねます。ツアーでは、岐阜公園の居館跡見学と29年春に大改修を終えた三重塔の内部を特別に見学していただきます。また、常在寺、妙照寺、大仏殿では住職等による解説でひと味違う特別拝観を用意しています。

11/4(土) ⑤10:00~12:00
⑥13:30~15:30

コース内容(順序不定) 両日とも同じ

11/5(日) ⑦10:00~12:00
⑧13:30~15:30

定員 両日とも 各20名

岐阜公園・居館跡(信長公450周年資料などによる説明)、三重塔(大改修できれいになった内部を特別見学)
常在寺(斎藤道三菩提寺)、妙照寺(竹中半兵衛屋敷跡・松尾芭蕉滞在の寺)、正法寺・大仏殿(日本三大仏の一つ)
城下町の名残(百曲り通り・七曲り通り・梶川堀)、御館所跡などのまち歩き

参加費: 1,000円(入館料・拝観料込み、呈茶券付き) 《当日受付時に参加費の支払い、予約制》

※「呈茶券」は、お抹茶会場またはぜんざい会場、占いコーナーで使用していただけます

申込方法: 下記の参加申込票に記入のうえ、大仏殿受付へ または、氏名・住所・電話・参加人数・コース名・時間番号をFAX 058-264-1079へ お問い合わせは、電話058-262-5844(岩佐)まで
集合場所: [お月見de狂俳] コース以外はすべて、正法寺・大仏殿南側駐車場(大仏)

※お車の方は、岐阜公園市営駐車場へ、バスの方は、岐阜公園歴史博物館前または本町1丁目下車

受付時間: 各コースすべて開始時間の30分前から 申込期間: 平成29年10月30日まで

その他: 最少催行人数は各コース5名、[お月見de狂俳]のみ10名、 定員を超えた時点で締め切りの予定

【まちのお宝発見コース】

井の口まちづくり会が「まちの文化的建造物」に顕彰選定している家々を巡り、その中の町家にて公開見学と専門家からの説明があります。ほかに、エアーライフル射撃場や円空美術館など、普通のまち歩きでは見学できない場所を訪ねます。

11/5(日) ⑩10:00~12:00
⑪13:30~15:30

コース内容(順序不定) 定員 各20名

井の口まちづくり会が平成26年度より毎年選定顕彰している「まちの文化的建造物」の町家を巡って散策町家の公開見学(専門建築家による特長解説)
エアーライフル射撃場(入場見学)
円空美術館(円空仏を80体所蔵・入館見学)

平成29年度前期・井の口まちづくり会・各部会活動報告



ゲームを楽しむ子供たち

(後藤勝利)

イベント部会
「天仏フェスティバル」協賛

今年は大仏フェスティバル30周年に加えて
大仏さま開眼185年の節目の年に当たり、大
勢の方々の来場で大盛況の7月22日(土)を
迎えました。翌日は残念ながら、盆踊りの
始まる頃まで一時雨に見舞われました。
さらにいえば、岐阜命名信長公入場450年
であり、井の口まちづくり会も10周年とい
うことで、子供たちのゲームを担当したイ
ベント部会も大勢の子供たちを相手に盛
り上がりました。紙面を借り自治会・婦人会
の皆さんに感謝いたします。(後藤勝利)



「ブレンドコーヒー」のふたり

夕暮れの金華山・岐阜城を背景に、会員
が飾り付けた筆と竹筒のキャンドルで来場
者をお迎えした般若寺にて、今年も七夕コ
ンサートを7月8日(土)に開催しました。
今年の出演者は、中学時代の教師と教え
子で結成された「ブレンドコーヒー」。アコ
ースティックギターによる音楽と歌で、昔な
つかしい演歌やボップスから最新の曲まで
レパートリーは広く豊富で楽しめました。
最後には「七夕さま」を全員で合唱し、夏の
夜のひと時を満喫しました。(伊藤逸夫)

井の口探索ツアー参加申込票

氏名			
住所	〒 - - - TEL - - -		
同行者	あり・なし	参加人数	名
コース ○で囲む	ミュージアム 伝統産業 生業 まちの歴史探訪 お月見de狂俳 まちのお宝発見		
時間番号			

今年の十三夜は11月1日、望の月は
4日ということで、お月見と狂俳の探
索ツアーコースを設けました。金華山
にかかる美しい晩秋の名月を待ちなが
ら一句。そんな時間をお友達やご家族
で楽しめたらとお勧めいたします。

まちなかアート部会
「七夕コンサート」開催

井の口の町割りは戦国の世から大き
くは変わっていない、といわれますが
本当にどうですか。江戸の初期から、明
治の初めまでの「古地図」を探してみ
る者をお迎えした般若寺にて、今年も七夕コ
ンサートを7月8日(土)に開催しました。
今年の出演者は、中学時代の教師と教え
子で結成された「ブレンドコーヒー」。アコ
ースティックギターによる音楽と歌で、昔な
つかしい演歌やボップスから最新の曲まで
レパートリーは広く豊富で楽しめました。
最後には「七夕さま」を全員で合唱し、夏の
夜のひと時を満喫しました。(伊藤逸夫)

事務局だより

井の口の町割りは戦国の世から大き
くは変わっていない、といわれますが
本当にどうですか。江戸の初期から、明
治の初めまでの「古地図」を探してみ
る者をお迎えした般若寺にて、今年も七夕コ
ンサートを7月8日(土)に開催しました。
今年の出演者は、中学時代の教師と教え
子で結成された「ブレンドコーヒー」。アコ
ースティックギターによる音楽と歌で、昔な
つかしい演歌やボップスから最新の曲まで
レパートリーは広く豊富で楽しめました。
最後には「七夕さま」を全員で合唱し、夏の
夜のひと時を満喫しました。(伊藤逸夫)

井の口の町割りは戦国の世から大き
くは変わっていない、といわれますが
本当にどうですか。江戸の初期から、明
治の初めまでの「古地図」を探してみ
る者をお迎えした般若寺にて、今年も七夕コ
ンサートを7月8日(土)に開催しました。
今年の出演者は、中学時代の教師と教え
子で結成された「ブレンドコーヒー」。アコ
ースティックギターによる音楽と歌で、昔な
つかしい演歌やボップスから最新の曲まで
レパートリーは広く豊富で楽しめました。
最後には「七夕さま」を全員で合唱し、夏の
夜のひと時を満喫しました。(伊藤逸夫)